



国公立大学合格のために今日から意識すべきこと

こんにちは。進路指導部です。

越ヶ谷高校の先輩たちは常に高い目標を見据え、努力によってそれを達成してきました。

4年制大、短大、専門に就職など、進路は様々ですが、妥協せず高い目標をもってください。

大学進学希望者は、まずは国公立大学を考える。併願の私立大学はGMARCHと呼ばれる大学を目指して頑張りましょう。

国公立大学に合格するために必要な要素を以下に挙げます。今後3年間勉強していく上で肝に銘じておいてください。

みんなが第一志望を諦めない限り、必ず行かせます。一緒に頑張りましょう。

①高校では偏差値が10下がる！？

これビックリじゃないですか？北辰テストのみんなの偏差値は60~70くらいでしょうか？

高校で受ける模試では、大学入試を受験する生徒、つまり勉強を頑張ろうという生徒しか受けないため、みんなの全国での位置が下がってしまうのです。越ヶ谷高校の平均偏差値は50~55くらいです。

また、北辰では埼玉県の中학생と競っていただけでしたが、高校の模試は全国の高校生と競うため、偏差値も上がりづらいです。大学入試は高校入試と比べ物になりません。3年夏から始めたのではまず不可能です。1年から意識を高く持って勉強してください。

②2年までは英国数中心。英国数は1年間で伸びない

2年までは英国数をとにかくしっかりやる。英国数は2年間で範囲は基本的に終了します。

(理系の数学Ⅲという科目は3年でも新しいことを勉強しますが…)

理社は3年になってからがむしろ本番です。12月まで新しいことを勉強します。理社は比較的偏差値を上げやすいですが、英国数は上げづらいです(高校受験で感じませんでした?)。3年になって英国数を上げるのは至難の技です。英国数は継続して力を入れましょう。もちろん理社も手を抜かずやってね!

③苦手科目を作らない

大事なものは教科のバランスです。文系であれば数学理科、理系であれば国語社会に苦手意識を感じると思いますが、何とかくらくらいついてください。特に国公立希望者を悩ますものは大体この2教科です。

④英語を超得意にする

文系理系ともに、英語は必要です。かつ国公立2次試験や私立大入試でも、文理問わず英語の配点が他教科に比べて高いのです。英語が受験を左右するのは間違いありません。得意ではなく、超得意にしましょう。相談があればいつでも英語の先生に聞いてください。

⑤全国の大学を視野に入れる

国公立大学にどうしても行きたいという場合、自宅通学だけではなく、1人暮らしも視野に入れておきましょう。この辺りから通える国公立大学は、みんなが行きたいと思う埼玉大学も含め、レベルが高い大学が多いです。東京、千葉、神奈川の国立は偏差値60を超えます。一番近い埼玉大学も偏差値55程度必要です。これは簡単そうに見えますが、5教科7科目で考えると実はかなり難しいのです。そうなったとき、北関東の宇都宮大、群馬大、茨城大に目を向けると、偏差値は50くらいです。関東以外にも国公立はたくさんあります。大学は親元を離れ、就職で埼玉や東京に帰ってくることもできるので、全国の大学も視野に入れましょう。

昨年も現役生で山口大・宇都宮大・茨城大に、浪人生で神戸大・鹿児島大・群馬大に進学した生徒がいます。首都圏にこだわらず、幅広く全国を見てください。